

平成25年度
全国保育士養成協議会 中部ブロック第18回セミナー
開催要項

I 全体テーマ

質の高い保育を創り出す保育士の養成 ―保育制度改革の流れを受けて―

II 大会趣旨

子ども・子育て支援新制度の施行予定時期まで1年半に迫りました。すでに国では、待機児童解消加速化プランによる保育の量拡大への取組みや、「子ども・子育て会議」、「幼保連携型認定こども園保育要領（仮称）」の検討会議も開始されています。いずれも保育士養成校と深く関わる内容であるだけに、その動向が注目されます。

保育の量拡大と合わせて、保育の質の向上も求められているところです。幼保連携型認定こども園においては幼児期の学校教育と保育の実施が予定され、昨年度の本セミナーでも保育の本質を問う内容が取り上げられました。そこで今回は、何を保育の目標としてどのような保育実践をすることが求められているのか、また、そのために養成校としてどのような授業や取組みが必要であるのか、より具体的に検討し学び合いたいと思います。

そのために、分科会では「保育における教育的な視点と保育教諭をめぐる課題」「保育実践力を磨く取組み」「特別な支援の必要な乳幼児への対応」をテーマとして探究することに致しました。日々の保育実践において保育の質の向上を目指し保育を自ら創造していくことができるような保育士や、保育の本質的な課題や今日的な課題に真摯に向き合い、改善に向けて努力できる保育士を養成するためにはどうすればよいのか、参加者の皆様と検討してまいりたいと思います。

一方、都市部を中心に保育士不足も目立つようになりました。その背景には、就職後数年以内に退職する保育士の多さの問題があります。保育の質の向上には、保育士として学び続けることによるキャリア形成が不可欠です。養成した保育士達が職業に誇りや楽しさ、やりがいを持ち就業し続けられるようにするには、どのような養成が求められるのか考えていきたいと思います。

保育制度改革を生かし、子ども達や保育士にとってより良い保育の場を創り出すためにも、養成校や保育所、児童福祉施設等の多くの先生方のご参加を願っております。

III 主催 全国保育士養成協議会 中部ブロック協議会

後援（予定）愛知県、名古屋市、愛知県社会福祉協議会、
愛知県私立保育園連盟、名古屋民間保育園連盟

IV 開催日・会場

1. 開催日：平成25年12月20日（金）・21日（土）
2. 会場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階、11階
（愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38）
（TEL：052-571-6131 <http://www.winc-aichi.jp/>）

<交通アクセス>

- 公共交通機関をご利用の場合：（JR・地下鉄・名鉄・近鉄）名古屋駅より
 - ◎JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
 - ◎ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
 - ※名駅地下街サンロードからミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分
- お車をご利用の場合：名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分
 - ※駐車場につきましては収容数に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

V 日程

第1日目：12月20日（金）12：30～19：30	第2日目：12月21日（土）8：30～11：40
受付 12：30～13：00	受付 8：30～9：00
開会式 13：00～13：20	事務連絡 9：00～9：10
事務局報告 13：20～14：00	シンポジウム 9：10～11：30
専門委員会報告 14：00～14：40	閉会式 11：30～11：40
事務連絡 14：40～14：45	
分科会 15：00～17：00	
情報交換会 17：30～19：30	

VI プログラム

1. 全国保育士養成協議会事務局報告

- 演題：「保育士養成校をとりまく現状と課題」
- 講演者： 全国保育士養成協議会 常務理事 大嶋恭二（予定）

2. 専門委員会報告

- 演題：「指定保育士養成施設教員の実態に関する調査」
- 講演者： 全国保育士養成協議会 課題研究専門委員
浅野 卓司（桜花学園大学） 宮崎 つた子（高田短期大学）

3. 分科会

<第1分科会>

- テーマ： 保育における教育的な視点とは —保育教諭を取り巻く課題に迫る—
- 趣旨： 幼保一体化の流れの中で、幼保連携型認定こども園に勤務する「保育教諭」が注目されている。新しい職名である「保育教諭」には、教育的視点をもって保育することが期待される。すなわち、質の高い幼児教育と保育の総合的な提供が求められ、保育者の力量や資質が問われることになる。そこで「保育教諭」設置と制度上求められる養成校の役割、また、それに伴う保育者養成の課題について、理解を深める場としたい。

	提案事項	提案者
提案	「保育教諭」設置と養成校の役割	矢藤 誠慈郎（岡崎女子大学）
	「保育教諭」設置に伴う保育者養成の課題	近藤 正春（桜花学園大学）
司会	石川 博章（愛知学泉短期大学）	
記録	横山 由里（中部ビエタ・パティエ・保育専門学校）	鈴木 方子（岡崎女子大学）
運営	伊藤 智式（愛知学泉短期大学）	渡邊 里江（中部ビエタ・パティエ・保育専門学校）

<第2分科会>

- テーマ： 保育実践力を磨く養成校における取組み
- 趣旨： 養成校において、学生は様々な表現技術や遊びを習得したり、乳幼児との関わり方などを学んだりしながら、保育実践力を身につけることを目指している。それらの習得のために、授業、学外実習、ボランティア活動などの場で様々な工夫がなされているだろう。それらは、どのようなねらいに基づき実施されているのか、そのプロセスにはどのような課題があるのかを学び合う場としたい。

	提案事項	提案者
提案	コミュニケーション能力と生活関連実践力の育成について	青嶋 由美子（豊橋創造大学短期大学部）
	岡崎げんき館における保育実践と個別面談を通じた学生へのサポートの相互作用 ～愛知学泉大学こどもの生活専攻の取り組み～	伊藤 亮（愛知学泉大学） 加藤 万也（愛知学泉大学） 古川 洋子（愛知学泉大学）
司会	井中 あけみ（豊橋創造大学短期大学部）	加藤 万也（愛知学泉大学）
記録	加藤 克俊（豊橋創造大学短期大学部）	水野 尚美（中部福祉専門学校）
運営	伊藤 亮（愛知学泉大学）	神谷 貴代（中部福祉専門学校）

<第3分科会>

○テーマ： 保育現場の今日的課題に対する養成校の取組み

—特別な支援の必要な乳幼児への対応—

- 趣 旨： 近年、保育の場には、障害児や気になる子等、特別な支援が必要な子どもたちが共に生きる。保育士の専門性として、その対応の重要性が高まっていると同時に、保育士養成において何を育むことが必要かという課題が生じている。保育士養成校における障害児と交流できる場の設定、施設実習の指導をめぐる取り組みなどの実践を通して、この課題を学び合う場としたい。

	提案事項	提案者
提案	障害のある子のサマースクールをふりかえて：特別な支援を必要とする子どもへの理解を深めるために	梅下 弘樹（岡崎女子短期大学）
	20年間の施設実習の指導をふりかえて：保育観を深めるために	小川 英彦（愛知教育大学）
司会	鈴木 恒一（岡崎女子短期大学）	
記録	岩瀬 忍り子（慈恵福祉保育専門学校）	鈴木 穂波（岡崎女子短期大学）
運営	鈴木 裕子（愛知教育大学）	酒井 雪枝（慈恵福祉保育専門学校）

4. シンポジウム

○テーマ： 養成校と保育現場との連携によるキャリア教育を目指して

—学生・若年保育士の揺らぎや離職にどう向き合うか—

- シンポジスト： 船戸 孝重（リクルートコミュニケーションエンジニアリング）
森 里美（刈谷市役所子ども課）
石川 昭義（仁愛大学）

- コーディネータ： 新井 美保子（愛知教育大学）

- 趣 旨： 晴れて保育士として就職しても、1、2年の内に休職や退職に追い込まれる若年保育士が増加している。中には、就職直前になって辞退する学生も見られる。養成校の教育として、何が欠けていたのであろうか。学生の個人的資質、精神論、あるいは待遇の問題として片付けてしまえば、解決の見通しは立たない。

保育士という職業に誇りをもち、楽しさや自信を見出しながら就業し続け、キャリアを積んでいくことができるような養成システムや研修システムを、養成校と保育現場が連携して構築していく必要があるのではないかと。

本シンポジウムでは、保育現場の現状、養成校の抱える問題、他の業種での新人の実態や研修方法等に関するご報告やご提案をいただき、メンタルな問題への対応方法などを含めてより良い養成のあり方を考えていきたい。

Ⅶ 参加申込と参加費等振込先

1. 参加申込

- 1) 申込方法：同封の参加申込用紙をご利用のうえ、**FAX・郵送**にてお申し込みください。
(愛知教育大学ホームページ <http://www.aichi-edu.ac.jp/> の新着情報/イベントに
セミナーの開催要項(PDF)を掲載)
- 2) 申 込 先：中部ブロック第18回セミナー事務局
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学 総務課 総務企画係
TEL：0566-26-2118 FAX：0566-26-2110
E-mail：hoyokyo-aikyo@m.auecc.aichi-edu.ac.jp
- 3) 申込締切：**平成25年10月18日(金)**

2. 参加費・情報交換会費と振込先

- 1) 会員校：1人4,000円 非会員校：1人1,000円(保育士等を含む)
- 2) 情報交換会費：一律1人8,000円
- 3) 振込先：参加申込後、諸費用を下記にお振込ください。
当日受付にてセミナー参加証を配付いたします。
なお、非会員校の方がご参加いただく場合に限り、当日現金にて受付も可能です。

振込先	岡崎信用金庫 稲熊支店	口座番号	普通預金 9040545
(カナ) 口座名	ゼンコホイクシヨウセキョウギカイ チュウブブロックキョウギカセミナー ジムキョクチョウ アライシホ 全国保育士養成協議会 中部ブロック協議会セミナー 事務局長 新井美保子		

- 4) 振込期限：**平成25年10月25日(金)**

Ⅷ 宿泊について

セミナーの会場は、(JR・地下鉄・名鉄・近鉄)名古屋駅より徒歩10分圏内にごございます。
駅近隣で宿を確保いただくと大変便利になっております。

Ⅸ その他

○情報交換会

会 場：『ローズ・ガーデン』キャッスルプラザ1階レストラン(名古屋市中村区名駅4-3-25)
年末のひとときを情報交換しながら南仏料理で過ごしたいと思います。是非ご参加下さい。

時 間：17:30～19:30

中部ブロック第18回セミナー事務局
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 総務課 総務企画係(全国保育士養成協議会 中部ブロック第18回セミナー担当) TEL：0566-26-2118 FAX：0566-26-2110 E-mail：hoyokyo-aikyo@m.auecc.aichi-edu.ac.jp